

# イマヌエル教報

2020. 5

1947年7月1日第三種郵便物認可 2020年5月5日（毎月5日発行）

イマヌエル綜合伝道団

No.886

IMMANUEL

聖霊があなたがたの上に臨まれるとき、地の果てにまで、わたしの証人となります。（使徒 1:8）

## 変化を恐れなくて

教団代表 内山 勝



「その土台とはイエス・キリストです。だれかがこの土台の上に、金、銀、宝石、木、草、藁で家を建てると、それぞれの働きは明らかになります。『その日』がそれを明るみに出すのです。その日は火とともに現れ、この火が、それぞれの働きがどのようなものかを試すからです。」（第一コリント三・11～13）

新型コロナウイルス感染の世界規模での拡大により、3月・4月で、私たちの生活は一変しました。これほど大きな変化がやって来るとは、誰も想像していませんでした。

4月7日、首都圏、関西、福岡などで「緊急事態宣言」が発令されて以降、多くの教会では、会堂に集まってくるの礼拝を自粛せざるを得なくなりました。共に讚美し交わることもできません。伝道活動や家庭集会、教会学校も制限されています。信徒の皆さんの生活も一変し、経済的にも大きな支障が生じているかもしれません。これから先どうなっていくのでしょうか。不安や恐れ、暗雲が社会全体を覆っています。

### ■変わらない土台

しかし、こうした事態を通して、教会の真価が試されているとも言えるでしょう。礼拝のために会堂に集まれなくなったとき、改めて、礼拝とは何だろうかと考えさせられます。これまで普通にしていた教会の営みができなくなったとき、教会って何なのだろうと考えさせられます。これらはとても重要な問いです。そこで本質がつかめれば、変化を恐れる必要はなくなる

からです。では本質とは何でしょうか。パウロは、「土台はイエス・キリスト」であって、それ以外のものを据えることはできないと宣言します。時代が流れ、社会がどんなに移り変わっても、教会の土台はイエス・キリストご自身です。イエスさまこそ教会のかしら、私たちの礼拝を受けるべきただ一人のお方です。

### ■変わるべきこと

変わらない土台を確認した上で、現在起こっている変化に対応するためには、私たち自身が変わらなければなりません。会堂に集まらなくても、真の礼拝を捧げている教会がたくさんあります。インターネット・ライブ礼拝です。オンラインでお茶会をしているグループ、デイポジションや祈りの課題をメーリングリストで分かち合いながら、日々繋がろうとしている兄弟姉妹たちがおられます。もちろん、ネット環境のない兄弟姉妹たちへのケアを忘れてはいけません。説教メモやCDを郵送して礼拝を共にする教会もあります。さらに、求道者や信徒の家族にも礼拝ライブ配信を一緒に見ていただけるようにして、伝道の機会として用いている教会もあります。福音を共有し、より多くの方々に伝えるために、私たちはもつと変わるはずで、木、草、藁のような火で燃え尽きるものではなく、金、銀、宝石のような火に耐えられるもので、教会を建て上げて行きましよう。できないことを嘆いて何もしないのではなく、今できることでベストを尽くしましょう。主イエスが私たちの真ん中においてくださいます。

## 目次

- 変化を恐れなくて……………内山 勝……1
- 新型コロナウイルスの対応、新しい任地で……2
- ペンテコステの黙想、今後の予定、JHAから……3
- 海外トピックス、国内教会局、読書のひろば……4
- 南日本ブロック近況と祈りの課題、燭台……5
- 広げた翼……6～8
- 聖宣神学院報……9～11
- 公報、消息……12

# Immanuel

新型コロナウイルス感染拡大

困難な中を通過している私たち  
勇気を持って、思慮深く



国内教会局長 岩上祝仁

「世にあつては艱難があります。しかし、勇敢でありなさい。わたしはすでに世に勝ちました。」

(ヨハネ一六・33)

新型コロナウイルスの感染拡大とそれに伴う緊急事態宣言のため、いつもとは全く異なる形態で受難週・復活節を過ごしました。当たり前のように教会に集まって礼拝を捧げていたのが、家庭での礼拝に切り替わりました。自粛要請が出されたために仕事や学校に行けなくなったり、テレワークなどライフスタイルが大きく変化した方々もいます。経済的に大きな不安の中にいる方々や健康的な不安を覚えている方々など「不安」が私たちの心も生活も覆っています。このような時こそ、信仰の目を主にイエスに向けましょう。

1 世にあつては艱難がある事実 私たちが過ごしている世は、罪と死が支配している世です。今回の新型コロナウイルス騒動も死と病いがこの世を治めている事実を私たちに

突きつけました。この世の現実の困難と艱難は否応なく私たちを痛めつけ、苦しめます。健康の問題、経済の問題、そして精神的なストレスなどを抱え込むのです。この世にあつて艱難・苦難に遭遇したとしても、神はなお試練の中におられることを覚えましょう。

2 世に勝利された主

この世が勝つたと思えるところから主イエスの勝利が始まります。ご自身を十字架で犠牲にされることで主イエスは私たちのためにいのちの道・救いの道を開いてくださいました。主の勝利は十字架です。だから主は十字架を目前にして「勝利宣言」を出されたのです。

このお方を信じる者にも主イエスは同じ勝利を与えてくださいます。

3 主の励まし

この世の艱難・苦難がキリストに従う弟子たちにも襲いかかることを知っておられた主は、「しかし、勇敢でありなさい」と語られます。このみことばを心にしっかりと受け止めたいと思います。感染拡大によって大きなダメージを受けている私たちへの励ましです。先行きが見えない、今までのような信仰生活が送れない、健康も経済も不安で仕方がない、でも大丈夫です。十字架の勝利を取られた神の独り子であるキリストが私たちの主なのです。勇気を持って取り組みましょう。思慮深くしかし大胆にこの危機の時代にキリスト者として生きましょう。労苦は主にあつて無駄でないのですから。

牧師として最初の任地

第一歩を踏み出しました

この町に!  
主の声が聞こえる

武蔵村山教会 中尾敬一

両親が開拓伝道を始めた時は、ちやぶ台も無く、ミカン箱を逆さまにして食事をしたそうです。たくさんチラシを配っても、ふらつと集会に入ってくる人は現れず、母が会衆席にひとり座って父の説

新しい任地で  
インターンの地で再び  
福音の橋を架ける、そのために

姫路教会 竹内俊之

「けれども、あなたはどんな場合にも慎んで、苦難に耐え、伝道者の働きをなし、自分の務めを十分に果たしなさい。」

(第二テモテ四・5)

再び姫路教会に遣わされた幸いに感謝致します。

教を聞いていたといえます。

37年経って、私の番になりました。会衆席には誰もおらず、カメラが置いてあるだけ。図らずも開拓時代を想像させられるスタートとなりました。もちろん収録した動画を用いてくださる教会の皆様がおられ、礼拝が終わればラインを送ってくださいますから、開拓を経験された先生方には「何を言っとるか」と一笑されてしまうでしょうけれど、「この町でも福音を伝えよう。そのために、わたしは出て来たのだから。」静かな会堂で、イエス様がそう言っておられるような気がしました。

武蔵村山市は東京都23区外の北西にある人口7万人の町です。多摩湖と横田基地の間にあり、自然

豊かな野山北・六道山公園と、都内で唯一、駅の無い市で有名です。ほぼ住民しか来ない町ですから、地元密着型の伝道が求められます。これまで家庭集会用いられてきました。町並みは地方のようですが、人々の感覚は東京だなと感じます。ネット広告や新聞折込をするなど教名が自転車でこられるのです。教会に入りにして近所で噂になるということはあまりないのかもしれませんが。早く集会を再開できるようにお祈りください。

さて、これから何十年になるでしょうか。伝道・教会生活の第一歩を踏み出しました。イエス様と一緒に、お祈りに支えられながら、一歩一歩あゆませていただきたいと願っています。

思えば関西にきたのは大阪万博開催の1970年以来なので50年振りでした。大阪万博の開催テーマは「人類の進歩と調和」。あれから半世紀が経ちました。言葉モジリで、反省期。姫路で学ばせて頂いた一年、楽しい事も有りましたが、試練や試みにたくさん遭遇できた事、その中であつても、この姫路の地に私を遣わして下さい。主は、ただ頑なに「みことば」を話し伝えるだけの「伝道マシーン」としてここ姫路に遣わされたのではなく、敢えて、私という欠けだらけな器を用いて、時には小さく、時に柔らかに、時には汗にまみれ、姫路の文化に、人々に「和

れた」と思い知ります。イエスさまが「神」でありながら「人」となって地上に来て下さり、人々と共に泣き笑い怒りながら、みことばを語ってくださいましたように。共に痛み悲しみながら、むしろ傷や涙でヨロヨロしながら福音をお伝えしたい。みことばだけはしっかりと伝えたい。ドラマ「同期のサクラ」の主人公、北野サクラが試練に晒されても信念を貫き、宣言したように「私には夢があります。神の国から、みことばの届かぬ国々へ福音の橋を架けること、福音の花を咲かせること。それだけはあきらめられないので……」と言えるように。

ペンテコステの  
**黙想**  
聖霊は私たちを一つに



WGM宣教師  
マッツ・ザック

新型コロナウイルスが出現して  
から、世界が変わってしまった気が  
します。このような時に聖書を  
読むと、以前とは違ったものが見  
えてきます。世界がロックダウン  
状況にある中でペンテコステの出  
来事はとても心惹かれます。ま  
ず、一所に集まっていた弟子たち  
は「安全ではなかった」はずで  
彼らはマスクをしていた？ ドア  
の横にアルコール消毒液はあっ  
た？ 十分な間隔を空けて座って  
いた？ 彼らは部屋を出ると群衆  
と一緒にいたのです。とても安  
全とは思えません。

この記事で、以前気づかなかっ  
たことが見えてきます。2か月前、  
私たちは大勢の中にいること  
も、握手することも心配しませ  
んでしたし、誰かが咳をしても何  
も気にしませんでした。彼らも何  
も心配せずに一緒に集まり、群衆  
の中を歩いて行けたのです。それ  
が突然、世界中が新型コロナウイルス  
のニュースに釘付けになります。

わすか数週間で世界がすっかり変  
わってしまいました。  
教会はペンテコステを時代の転  
換点、新しいスタートとして見て  
います。彼らが直面したのは私  
たちと同じではないにしても、ペン  
テコステにおける神について学ぶ  
ことがありますし、それこそがい  
ま心に留めなければならぬ大切  
なことだと感じています。ペンテ  
コステで聖霊は、境界線や言語、  
人種の違いを乗り越えさせたので  
す。聖霊は今すべての人に働いて  
おられます。聖霊は人々を結びつ  
けます。そうでなければバラバラ  
になってしまう人々をです。

今この時、互いに距離を空けな  
ければならないとしても、世界中  
で同じ危機に直面している私たち  
は、聖霊が私たちを結びつけてお  
られることを知っていますし、私  
たちを見捨てて去ってしまったわ  
れらも知っています。礼拝を  
ネットで見なければならず、楽し  
みにしていた集いがキャンセルに  
なったとしても、ペンテコステに  
誕生した教会は、会堂や礼拝スタ  
イルよりもずっとすばらしいもの  
であることを知っています。共に  
おられる聖霊は、いまも世界中の  
教会を結び合わせておられます。  
この瞬間も遠隔地で苦難と戦って  
いる人々のために祈りたいと思  
います。祈りに心を合わせ、何とか  
してこの困難を共有し、いまはバ  
ラバラにされていますが、聖霊が  
もう一度私たちを一つにしてくだ  
さることを見たいと思います。

今後の予定について  
お知らせいたします

総務局長 寺村秀嗣

4月に入り主要都府県で緊急事  
態宣言が出され、転任を越えての  
春の教会会も日程や形態の変更  
に苦慮してこられたことと存じま  
す。

■今年度は来年2月に(今年の年会  
が未開催のため承認されていま  
せんのでまだ仮日程ですが)開催  
される教団総会を想定しながら運  
営を進めることとなります。6月  
にご案内しております事務年会も  
形態を含め、4月中旬現在なお検  
討中です。

■選挙管理委員会も変則的な動き  
の中で柔軟に手続きを進めてい  
てくださいますので、ご理解とご協  
力をお願いいたします。

■今年前半は特に会場に集ま  
るの諸集会、会議などは大きく制限  
され中止も止むなしとされること  
でしょう。この影響はこの一年続  
くかもしれません。インターネッ  
ト、Eメールを利用しながらコ  
ミュニケーションの欠けを何とか  
補っていかねばと願います。

■今後の予定については現時点で  
はかなり流動的ですので、教団、  
教区からの連絡には別格ご留意く  
ださいますようお願い申し上げます。

日本聖化協会から

計画通りに進むかわかりませんが  
それでも聖化の恵み



JHA 会長 竿代照夫

各地域の聖化交友会を纏める  
「日本聖化協会(JHA)」では、  
ここ数年「聖化フォーラム」を  
開いて、聖化の共通理解を深める  
営みを続けています。今年3月に  
「聖化と人間性」というテーマで  
予定されていたフォーラムは、コ  
ロナの影響で来年3月に延期され  
ました。是非、来年をご期待くだ  
さい。

「今年の……」というテーマで  
原稿を依頼されましたが、JHA  
は今年、特段変わった活動を計画  
している訳ではありません。

例年のように、北海道から九州  
まで10地域の聖化交友会は、それ  
ぞれ聖化大会・セミナー・青年大  
会・女性大会などを計画していま  
す。この新型コロナウイルス騒ぎで中止や  
延期は幾つか起きていますが、落  
ち着いたら従来通りの催しが持た  
れることでしょう。皆さんの教会  
がそのいずれかに属しておられる  
ならば、積極的に参加し、盛り上  
げてください。

今秋は、昨年のように海外から  
講師をお招きせず、それぞれの地  
域で講師を立て、企画がなされま  
すが、より一層ご尽力くだされば  
幸いです。

地域交友会が周りに存在してい  
ない教会では、近隣のきよめ派諸  
教会に呼びかけて、それぞれに可  
能な形で聖化大会を始めるよう  
にご努力くだされば幸いです。

JHAはまた、目的を同じくす  
る日本福音連盟(JEF)と色々  
な形で協力してきましたが、今年  
6月にJEFが主催する総会・聖  
会(於・福岡)にも近隣の諸教会  
ともども全面協力することになっ  
ています。しかし最新のニュース  
では新型コロナウイルスの影響で、福岡大  
会は一年先送りになるようです。  
昨年まで、JHAの機関誌とし  
て「聖化」誌が年2回発行されて  
きましたが、今年からは、経費節  
減のため電子媒体での発行となり  
ました。JHAのホームページ上  
にそのPDFを掲載しますので、  
各教会でホームページからダウン  
ロードして掲示板に貼るとか、印  
刷して会員の皆様に配布する  
とか、PDFのまま会員に配信する  
とかの形で普及のお助けを頂けれ  
ば感謝です。

なお、今年3月までJHA事務  
局で尊いご奉仕を頂いた小林佳先  
生が健康の事情で退任されまし  
た。後任には河野美紀先生(BT  
C46期生)が4月から奉仕してく  
ださいます。小林先生のご快癒の  
ためにお祈りください。

国内教会局から

教会建設の務めに  
残念、中止になりました!



「わたしがしていることは、後でわかるようになります。」(ヨハネ一三・七)  
女性牧師合同リトリートのために尊いお祈りを頂き感謝致します。  
6月の実施を目指して女性牧師部員が昨年より祈り

つつ具体的な準備を進めて参りました。しかし新型コロナウイルス感染が時と共に拡大し、部では次第に延期や中止も視野に入れた準備となりました。実施の難しさが増し、社会の自粛要請の中、集会が守れない教会も増えてきました。  
そこで国内教会局長の岩上祝仁師にご相談し、その結果、①延期は難しい、②

来年は神学院同窓会の年。ということから大変残念でしたが中止を決定させて頂きました。主がお許しくださいれば後日実施を願っています。講師の石川紀和子師もご用を了承くださいました。次の時を期待させて頂きたいと思えます。この度の中止もローマ八・28のみことばの真実を経験する機会と信じます。(黛睦子)

■新型コロナの終息祈ってキリスト像に感染国の旗投影  
ブラジル・リオデジャネイロで3月18日夜、世界で猛威を振るう新型コロナウイルスの終息を願う、同市のシンボル「コロコバードのキリスト像」に感染が確認された166カ国・地域の旗が投影された。

地元報道によると、点灯に先立ち、カトリック教会のリオデジャネイロ大司教は「一日も早く『もう大変な時は過ぎた』と言えるよう、皆で協力しましょう」と呼び掛け。「再びいつものハグができますように」と祈りをささげた。

リオを一望できる丘に立つキリスト像には国旗のほか、各国語で「一緒に祈りましょう」との字幕が映し出された。



海外トピックス

元の本拠地アンフィールド・スタジアム近くの『キリストの教会』(独立)が行っている、新型コロナウイルスのパンデミック(世界的大流行)の影響を受けている「貧困者や高齢者のための食糧」プロジェクトを支援した。

「リバプール」は無料の2コース料理分の食材を同教会に提供。通常は、教会のホールで提供されていたが、持ち帰りサービスとなった。メニューには、リバプールの

ルのような港町では人気の、欧州北部の船員がよく食している「スカウス」と呼ばれる子羊、またはビーフのシチューも含まれている。  
■ブラジル・リオのキリスト像が医師の姿に  
共同通信によると、新型コロナウイルスの治療に献身的に当たる医療関係者らに敬意を表し、ブラジル・リオデジャネイロのコロコバードの丘に立つ巨大なキリスト像が4月12日夜、医師の白衣に着替えた。プロジェクトを使い、衣服や聴診器が映写したもの。現場の医療関係者の写真や、日本語も含む各国語で「ありがとう」の文字も投影された。12日は復活祭(イースター)に当たり、地元メディアによると、企画したカトリック教会のリオデジャネイロ大司教区は「世界的に感染症が流行する難しい時期における、希望と励ましメッセージ」と説明している。(平瀬聡樹)

読書の

ひろば



創造か進化か

デニス・アレクサンダー著 小山清孝訳

ヨベル刊

定価二、八〇〇円＋税

\*アマゾンで購入できます。

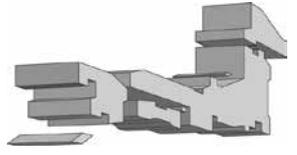
創世記一章から二章の創造の記事にまつわる創造論と進化論の対立は私たちの信仰のあり方にまで影響を及ぼしています。かつては六日創造説が信仰の踏み絵のように持ち出されたこともありましたが、人によって程度の差はあっても、この問題は心の中にわだかまりのように解決されない課題として留まっているのではないのでしょうか。  
この本の著者デニス・アレクサンダーは遺伝子・分子免疫学を研究する生物学者でケンブリッジ大学の教授職にありまます。また13歳で明確な回心経験をした熱心で敬虔なクリスチャンでもあります。



副題に「我々は選択せねばならないのか」とあるように、私たちが晒されている「創造論に立つか、進化論に立つか」二者択一を迫る圧力に対抗し得る力作です。  
内容は、このテーマで出版された類書の中で最も本格的で最新の情報を提供しています。著者の専門分野である遺伝子・ゲノムの豊富な事例と詳細な説明は少し難解かもしれませんが。一方、創造についての聖書の記事が釈義の歴史でどのように解釈されたかも記されていて興味を尽きません。私たちの疑問にも丁寧に答えています。

著者の言いたいことは、まず私たちは目の前の世界が提供するたくさんの情報に、冷静に、謙虚に耳を傾けること、それに尽きます。DNAに記された過去の記録は驚くような情報を私たちに伝えてくれます。確かに過去の議論は事実を目をつぶり「論」をイデオロギーのように扱い、不毛な論争を繰り返してしまいました。現実の世界を見つめ直す「謙虚さ」を改めて教えられます。放射性同位体の年代決定、ゲノムに記された情報、化石が語る歴史、どれも神さまが贈り物として私たちに与えてくださったものです。読み終えて、論から解放された爽やかな気持ちになりました。私たちは自己流の信仰理解に引きずられやすいものです。それを手放したら信仰も聖書も崩れてしまうのではと思ひ込みますが、でも神さまはそんな柔かな方ではありません。訳も◎です。(矢木良雄)

# 国内教会局 スクエア



## 南日本ブロックの 近況と祈りの課題

ブロック・アドバイザー

阪下 謙

全国の教会は、新型コロナウイルスの影響でさまざまな方法を模索しながら非常に厳しい戦いをしていることと思います。

南日本ブロックでも2教区では教区会をネット会議で行います。多くの教会では教会に集まることのできないため、礼拝もネット配信したり、事前に週報や礼拝メッセージを送付しながらそれぞれの場所での礼拝を守っています。お手元に教報が届く時には状況が変化しているかもしれません、4月上旬の現状をご報告いたします。

### ▼中国教区

鳥取教会は集会は礼拝だけで時間を短縮して行っています。また、感染者が少ないため県外からの来訪者が急増しています。

松江教会は市内に感染者が発生したため5月6日までの集会をすべて休止し、礼拝メッセージをメールや郵送で送り各自で持つことになりました。保育園も併設されていますのでお祈りください。

浜田教会はWebで礼拝を行っており、信徒の家族も一緒に礼拝

### 近況と祈りの課題

説教を聴かれていますとのことです。

岡山教会は、ZOOMでの礼拝に移行しました。祈祷課題も会員に送付しています。

呉教会は礼拝説教をライン、FB、郵送などいろいろな方法で対応しています。また、事前に会員に対応を説明しながら対策を進めています。

山口教会は消毒、換気を徹底しながら短縮の礼拝のみを行っています。またこれからの礼拝の持ち方を検討しています。

下関教会は予防を徹底しながら短縮礼拝をしています。また礼拝に来れない人にもフォロワーに努めています。

### ▼北九州教区

福岡県は緊急事態宣言を受け、3教会とも集会を休止中です。

北九州教会は松村先生が引退し、新卒の峯尾仰生先生が着任しました。赴任早々、緊急役員会を開き4月19日以降の全集会の休止を決定しました。これからの働きのためにお祈りください。

福岡教会はすべての集会を休

し、週報と礼拝説教を郵送して各自で礼拝を守っています。

久留米教会は礼拝のオンライン配信と郵送、ファックスなどで対応しています。

佐賀教会は消毒、換気をしながら礼拝を行っています。

長崎教会は昨年に新会堂が建設され、今年2月に献堂式がありました。集会は4月19日から教会には集まらず、メールと郵送で各自の礼拝を守っています。

### ▼南九州教区

別府教会は礼拝を2部に分けて、会堂内での参加者の間隔を保ちながら礼拝を行っています。また、中津伝道所、大分伝道所でも細心の注意を払いながら礼拝がもたれています。

熊本教会は週報と礼拝説教を配布し、各自で行っています。祈祷会は、少人数で参加者の間隔を保って行っています。

宮崎教会は参加を自主的にして礼拝を行い、参加できない人にもフォロワーをしています。

鹿屋教会は換気、消毒などを徹底しながら、礼拝と祈祷会を行っています。

始良教会は礼拝と祈祷会を行っています。牧師の交代がありましたが、礼拝は前田修二先生が説教を当務し、月1回末弘先生が担当されています。

「大草原の小さな家」のテレビドラマで、ネズミに汚染された小麦粉を介して疫病が蔓延し、ローラ（主人公）たちの町を大混乱に陥れた場面がありました。画面を見ながら「今はあのような時代とは違う」と昔物語のように思っていました。■ところが、いまや地球規模の感染拡大となっている「新型コロナウイルス」の危機に私たちは晒されています。緊張を強いられながら、いつ自分に迫ってくるかわからない「見える敵」と向き合わなければならぬのです。■戦後間もなく、郷里の松本市郊外浅間温泉地区でも疫病の流行がありました。市内へ通じる生活道路には荒縄が張られて人々の往来が禁じられたそうです。縄の張られた線の向こう側とこちら側、足を出してもいけないのかと、幼少時の私には不可解な話でした。■また、満州から引揚て来た両親からよく苦勞話を聞きました。「大地の子」(NHKテレビ1995年番組)を観てから、子どもの頃聞いた両親の話がようやく分かってきました。それほど厳しく辛い経験をした両親から聞いた話で、私が意外だったこと



## 心を見つめ直す時に

がありました。「引揚げで、何が一番辛かった？」との私の問いに、二人とも答えは同じでした。「引揚船が佐世保に着いて、祖国日本の陸が見えた。ああ、ついに帰ってきた」。ところがその時船内に疫病が流行ってしまった。二週間上陸が許されず、湾内停泊を強いられたことだ。あの時ほど辛かったことはなかった。■その辛さと同じようなところを、いま私たちは通っているようです。キリストのからだである教会、主を愛する兄弟姉妹とともに集い、礼拝し、祈り、賛美するところ、心のふるさとである教会に集まることのできないのです。しかもそれがいつまで続くか、明確な予測がついていません。■もしかしたら、これは私たちの信仰のあり方を内面的に探り、正し、調整する機会を、神さまが与えて下さっているのかもしれません。パウロはローマで獄中生活を強いられた時、彼はそれを益に変えて、福音の奥義、キリストと教会の奥義をより深く把握する時としました。私たちも、もう一度「主の祈り」の意味を味わい、心をこめて祈るときとしてうではありませんか。(国光勝美)

巻頭言

宣教の機会



世界宣教局 野田 禎



広げた翼

Immanuel His Wings

Department of World Missions

世界宣教局

http://www.immanuel.or.jp/world/

「群衆も二人に反対して立つたので、長官たちは、彼らの衣をはぎ取ってむちで打つように命じた。」(使徒の働き一六章22節) 新型コロナウイルスのため、世

2 牢獄の中の賛美 パウロとシラスは、むち打たれた牢獄の一番奥の牢に入れられました。そして両足には足かせがつけ

1 突然、彼らは逮捕されました。パウロはローマ市民です。ローマ市民は、裁判もかけられず、捕らえられ、鞭打たれるということから守られています。しかし、彼はなぜかこの時に「自分はローマ市民である」と言いませんでした。聖霊に導かれていたパウロは、聖霊から「今は語るな」という促しを感じていたのではないでしょう

の宣教が進められるように、主の助けを頂き、祈っていきましょう。

3 どうしたらいいのですか? 夜中、突然大きな地震が起こり、牢の扉は「すべて」開いてしまいました。飛び起きた看守がたいまつを片手に、そこに行つたとき悟つたことでしょうか。「全員逃げた。自分は死ぬしか無い」と。剣で自害しようとしたときに、パウロとシラスの声によって、自害を止め、助けを求めました。それを機に、彼と家族が救われ洗礼を受けました。次の日になってパウロは「ローマ市民である」ことをあかし、むち打ちを命じた長官たちが謝罪にやってきました。牢獄の経験は無駄ではなかったのです。

今、感染防止のために、インターネットや、郵便物の週報や説教プリントを読んで自宅で礼拝を守っている方がいます。困難ですけれど、互いに一つだという事を確認し、互いに愛し合い、励まし合うことができています。インマヌエル教団の構想を神さまが初代総理に与えられたのは、戦争による迫害で独房に入れられていた時ではありませんか。困難な時だからこそ、国内外の宣教が進められるように、主の助けを頂き、祈っていきましょう。

主の御名を賛美します。3月に入り、花々が開き春の訪れを感じます。久しぶりに日本の春を楽しませていただいています。巡回帰国が終盤を迎えました。今回の新型コロナウイルス感染症により多くの教会が礼拝・集会形態を変え、この制限がある状況に対応されている中にも神様の導きが確かにあることを感じます。3月は長岡教会、沖繩教区(那覇・東風平・糸満)、富士見台教会、高津教会の巡回が予定されてきました。2月末になり急な行動制限が強化されていく中で、長岡教会の巡回がキャンセルとなりました。データで報告内容を送らせていただき、それを礼拝で勝間田先生が代わって報告してくださるという形をとらせていただきました。沖繩教区は7日から16日までの約1週間の巡回をさせていただきます。沖繩の春としてはやや冷える天気でありましたが、無事に3教会で奉仕をさせていただきました。先生方、信

徒の方々との久々の再会恵みのおかげでした。富士見台教会では礼拝で報告、証の時間を頂きました。高津教会はギリギリまで何うかどうかという中で、関東圏の知事会議により行動制限が強化され今回はビデオメッセージの動画を送らせていただくことになりました。



**ZAMBIA**

**ザンビア**

根廻恵子\*2020年3月29日

望を持って待ちたいと思います。

3月の年会はありませんでしたが、今年度もザンビアの再任命をいただき感謝します。すでに報告されている4月20日のザンビアへの再赴任予定ですが、今回の各国のロックダウンにより、キャンセルとなりました。ザンビアは3月末現在、22人の新型コロナウイルス感染症者が出ています。奉仕地であるジェンボにはまだ感染症者が出ていませんが、医療体制が整っていないザンビアで感染拡大への不安・恐怖により緊張があるようです。こうして、今、ザンビアに行くことができない中で色々と思わせられています。今何をしなければならぬのか。よく信徒の方が「私は行くことはできないけどお祈りしています」と言ってくださいます。普段、言っていたことが多く立場にあつて、改めて今、私はザンビアのために「祈る」ことを教えられました。物理的に何もできないからと焦るのではなく、神様の力、助けを信じて祈り続けたいと思います。今、神様はこの状況の中、私に「祈る」働きを与えてくださっていることを感謝します。神様の時を信じ、希望を持って待ちたいと思います。

徒の方々との久々の再会恵みのおかげでした。富士見台教会では礼拝で報告、証の時間を頂きました。高津教会はギリギリまで何うかどうかという中で、関東圏の知事会議により行動制限が強化され今回はビデオメッセージの動画を送らせていただくことになりました。



ZAMBIA

ザンビア

富澤 香 \* 2020年3月30日

メールが届いているのがわかってても添付書類が開けず、メールが送れない状況が長く続きました。ネットに使う電話回線のSIMカードを町まで出て換えて家に帰りました(片道85km)。しかし家に帰ってきたらまたSIMカードを換えるようにとの連絡が入りました。実際メールはできない状況だったりました。直ぐには出かけられず昨日23日また町に出てきて確認して頂きました。町ではメールが通じるのがわかり3月の公信を遅らせて頂きました。車の不具合を直すために出てきています。オルタネーター(発電機)という重要な部品が壊れていることがわかり部品を探してもらったため、チョマという町に泊まることになりました。幸いルサカに向かっている友人がいるのを知っていたので部品をルサカで買ってもらうように連絡をしました。以前の局長が、現在はチョマにおられるので連絡したところ快く泊めていただ

くことになりました。他に知っている方がいるわけでもない所なのでとても助かり感謝でした。時間ができメールもできる、さすが町だと思いつつニュースを見て初めてコロナウイルス感染が深刻化していることがわかりました。世界宣教局からはコロナウイルスのことで豊田先生の帰国延期をお聞きしていましたが、コロナウイルスが聞いたこともなかったものなのではっきり言ってもわからないう状態でした。ザンビアでは学校が休校ということで初めてクリニックの職員もコロナを口にしたのが3月18日のことでした。この町ではお店の前に手洗いや消毒用のジェルが設置されていてさすが町だなあと感心しました。もちろんこんなことでいいのだろうかとか考えさせられることもあります。今回情報があつて入つてこないということはどういうことなのかと電話を含めて通信の大切さと尊さを実感させられました。ジンバでは停電も多く、時には12時間ぐらい止まることもあります。またクリニックで必要なコピーもできず不自由をします。でも、できることが普通にできるといふことがどんなに感謝なことなのかと改めて教えられています。

今日には何とか部品が届く予定で家に帰れると思います。しかしメールが家でできるのだろうかと思ひ、今、ここに滞在する間に公信を書いて送ることにしました。日頃のお祈りを感謝いたします。



PHILIPPINES

フィリピン

豊田常喜・恭子 \* 2020年4月5日

新型コロナウイルス拡大に伴い、大統領が「マニラ封鎖」を宣言しマニラ首都圏への出入りが制限されました(13日)。「封鎖」といっても正確には各自自治区における感染監視を強化するという「コミュニティ検疫(隔離)」を意味します。続いてマニラ首都圏に夜間外出禁止令が履行されました(15日)。公共交通機関は停止され、高速道路も封鎖されました。こうした現状を踏まえ、フィリピン各地域においても対策が講じられ、クラスター感染の恐れのある集会・イベント(教会も)の禁止それに伴い全国的に学校は4月12日まで休校となりました。ウエスレアン教会代表ギリアモ先生は、フェイスブックのグループにビデオを投稿、公式声明を発表し(1)自分と他者の健康に配慮し、(2)集会・イベントの開催・参加を控え、(3)各教会がもう一つの問題(感染)を生み出すのではなく、この問題の解決となるようにという奨励と

共に御言葉をもってメッセージを送りました。なお、代表の依頼により常喜はこのビデオ収録・編集・作成に携わりました(13日)。私たちの聖書大学も14日に緊急会議を開き、大学を休校し、学生たちを帰省させることになりました。子どもたちの学校も期末テスト前に休校となり、後日持ち帰りテストとなり、私たち親の監督下でテストを受け提出することができました。生活面では、買い物は通常どおりできていましたが、一週間後にはショッピングモールが閉店となりました。食品では、卵、パン、豚肉が店頭にはばなくなりました。ルソン島全域に「より強化されたコミュニティ隔離」の措置が取られることとなり(17日)、私たちが住むロザリス市も夜間外出禁止(20時から5時まで)が徹底され、各家庭に1部ずつ外出許可証が配布され、各家庭1人に限定されて外出(生活必需品の入手、通院)が許可されました。さらに近隣のバラングイ(自治体)から新型コロナウイルスによる死者が1人、感染者が1人確認され、2つの自治体が完全隔離されることとなりました(23、30日)。完全隔離された自治体はそこからの外出は許可されず政府から食料や必需品が支給品されます。私たちの大学の正門前にもバリケードが敷かれています。政府が発表した隔離期間まであと2週間となりました。主のみ守りに感謝しつつ、なお復活節を過ぎたいと思います。■



TAIWAN

台湾

平瀬義樹・光世 \* 2020年4月11日

先月もご報告しましたとおり、台湾では防疫の早期対応が奏功し先手必勝の形で次々に繰り出される施策が国民の要望に即答する形で進められています。例えば、マスク問題に関しても、これまでは一週間に一人3枚薬局で購入でしたが、2週間前からネット予約販売も導入され、今週に入り、一人2週間9枚までとなりました。これを受け4月よりは町中での外出の際にはマスク着用を推奨し入店や交通機関利用時にはマスク着用、入店時の検温、手の消毒が義務化されました。教会の働きも、時事刻々変化する情勢とともに、幾つかの制限や自粛が出て来ましたが、特に、年配の愛兄弟、高齢者と同居している愛兄弟、台中郊外から交通機関を利用される愛兄弟が集会に出席できなくなりました。訪問面会が困難な施設や病院入居者を含め、個別の対応に苦慮奮闘しています。そのような中、台中教会の礼拝と

祈禱会、毎週の台南日本語礼拝を通常通り守ることが許されていることは大きな恵みであり感謝です。集会に集まれる方々の人数は少なくなりましたが、台中教会では子どもたちの送別礼拝として生まれ育った教会から、教会の皆様温かい励ましと祈りをもって送り出しました。出入国の厳戒体制の中、23日に無事に日本に戻り、新学期に向けて備えています。初めての環境、生活にゆっくと適応していく時間となっています。引き続きお祈りをお願いします。

教会では奉仕の役割分担を再考し、自分たちのできることを一つずつという形で再編が進められています。より良い理解のためにという思いで、紙芝居の読み聞かせの奉仕も始まりました。10年前に台中市内の大学で開催していた日本語聖研の教え子のひとりがこのイースターに受洗されたといううれしいニュースを受け取り、御名を崇めています。台南日本語礼拝でも、週毎に変わる教会の変更に対応しつつ、継続して集会が持たれています。このような中ですが、新しい方や奉仕スタッフの恵みの証しが必要な励ましとなっています。台湾の教会では、複数の新型コロナウイルスのための祈りの小冊子が発行されたり、病の癒しと主の御力の權威、約束の聖言の学びのネット配信など、具体的なアプローチがなされています。一日も早い新型コロナウイルスの終息を祈りつつ、初夏に向かって進んでいます。



**KENYA**

**ケニア・テヌウェク**

蔦田就子\*2020年4月10日

2月、元大統領国葬のためお祈り感謝。混乱なく経過。3月初め建築家宣教師チーム来訪。病院拡張や移転、再構成につき前回より具体的な議論の1週間。同時にリバイバル・エンファシス・ウィーク(聖会の週)。病院母体のアフリカ

ゴスペルチャーチ本部のメシヤク・ハビブ先生が講師。音楽の賜物豊かで生き生きとメッセージを取り次いで下さる器ですが、例話には、ユースと関わられた中での心傷む話も。個人的には集会后恵の座でゆっくりお祈りでき感謝。三月後半、大統領が国を挙げて祈る日を設定、内外の移動制限が厳しくなり、続く予定だった看護学校のスピリチュアル・エンファシス週中止。看護学生は自宅待機。ケニアの空港閉鎖前に短期・中期の方は帰国。恒例の医療系宣教師集中セミナー(本国等での免許維持用単位が短期間で取れ、霊的養いや宣教師同士の交流も得られる)もWGMケニアのリトリート

も中止。ケニア看護師免許更新用ナイロビ行きも中止、しかしオンラインで出来感謝。学校閉鎖で専門コース習得に離れていたスタッフ達が戻り、新スタッフとして加わり感謝。新任の夫妻が經由地スペインで足止め、祈って奇跡的に道が開かれ無事着任され感謝。一時帰国中だった別の一家も再赴任、空港からノンストップの過酷な移動も守られ感謝。米国で心肺装置の研修中だった現地麻酔科スタッフも無事帰国。3例とも14日間自宅待機後奉仕復帰され感謝。地域保健省とも連携しつつ、勉強会、入場制限と検温と問診、手洗い設備や手指消毒液充実、臨時隔離病棟増設、物資節約、延期できる手術延期等、今は準備段階。嵐の前の静けさ。ウィーウィルノットビースケアド、ウィーウィルビープリペアド(私たちは恐れない、準備できているようにする)というフレーズがよく使われます。パーカー宣教師考案の「テヌウェク ケアズ」も合言葉、第二テモテ一章7節が中心聖句のように。テヌウェク ケアズとは、文字通りテヌウェクはお世話をします、の意味でもあり、手洗いのC、感染回避のA、接触減少のR、病気の隔離のE、必要時受診のS、それぞれの頭文字をつなげた言葉ともかけています。3月は突然天井からコンクリートの塊が落下した事件も。誰も傷つかず、本当に憐れみで感謝。

**お祈りの課題**

- ◆ 会計報告3月分  
宣教師献金 九八五、〇〇〇円  
月平均 一、九二六、〇六八円
- ◆ ザンビア (富澤)
- ◆ 通信事情が改善するように
- ◆ コロナウイルス感染が抑えられますように。(現在感染者3人)
- ◆ 感謝、祈りを忘れずに奉仕にあたる事ができますように
- ◆ ザンビア (根廻)
- ◆ 巡回報告が守られたことの感謝
- ◆ ザンビア、ジエンボの人々、医療スタッフのため
- ◆ ジエンボの富澤宣教師が守られるように
- ◆ 香港 (鹿島)
- ◆ 現地の教会での合同礼拝(3月15日)の感謝。教会全体が霊的に成長できるように
- ◆ 牧師たちの出入りができません。以前のように動くことが許されるように
- ◆ 良好な日中関係が維持されるとともに、香港の政治的な秩序と安定と経済の回復のため
- ◆ カンボジア (蔦田緑乃)
- ◆ 全国の祷告の力による水の供給の奇跡に感謝します。奇跡的に本部のある区域だけ水道から水が供給され始めたそうです。未解決の人々のため、お祈りください
- ◆ 新型コロナウィルスのため、宗教的集会の全てが禁止。霊肉の被害から守られるよう、迅速なる解決をお祈りください
- ◆ 蔦田の日本での住まいが謙ヶ谷

- から神柩に移動しました。新出発の生活と奉仕が霊肉共に支えられますようにお祈りください
- ◆ フィリピン (豊田)
- ◆ 非常事態によって帰省中の学生たちの学び、健康、霊性のために(4月14日帰省予定)
- ◆ フィリピン各地で、封鎖され衣食住に困っている方々のため
- ◆ 事故、けが、過ち、災害、病氣から家族が守られますように
- ◆ ケニア (蔦田就子)
- ◆ 免許更新の感謝とコンクリートの崩落から守られた感謝
- ◆ マラリア、新型ウィルス、インゴ、テロ等から守られるように、また対処できるように
- ◆ 麻酔科、整形外科を始めとする働き人(ルカー10章2節)が起こされるように
- ◆ 台湾 (平瀬)
- ◆ 台中教会・台南日本語礼拝の集会を持ち続けることができますように。事態は刻々変化しています
- ◆ 求道していた方々がまた来会できるように。救われる方が起こされますように
- ◆ 4月の連休以降、感染拡大が発生しないように。防疫対策・早期対応に、主のみ守りがありますように
- ◆ 私たちの健康と生活が守られますように。子どもたちの日本での生活が守られますように
- ◆ 台湾の政治、経済、治安の安定のため。一日も早い新型コロナウィルスの収束のため

# 聖宣神学院報



## Immanuel Bible Training College

### このようにときに

院長 ● 林 正弘

「あなたがこの王国に来たのは、もしかすると、このような時のためかもしれない。」

(エステル四・14)

このたび、聖宣神学院院長の任命をいただきました。力不足ではありますが、なし得る限りを尽くして務めを果たしたいと願っております。お祈りに覚えてくださいますようお願い申し上げます。

このような任命を受けて心に通ってきたのが、このエステル記のみことばでした。新学年度の入学式・始業礼拝でもこの箇所を開かせていただこうと願っておりますが、新型コロナウイルスの感

染拡大に伴い、4月には入学式を持つことができませんでした。この紙面が先になってしまいましたが、このみことばを心に留めたいと思います。

「このようにとき」とありますが、その時はユダヤ人を根絶やしにするための法令が公布されたという、ユダヤ人にとっての危機でした。モルデカイからこのことを聞かされたエステルには、王に直接訴える危険を冒さずに沈黙を守ることもできました。しかし、それについてモルデカイは、その場合でもユダヤ人の救いは起こされるがエステルは滅びる、と語り、こ

のようなときに王妃の立場を与えられていることを用いて行動を起こすことを勧めます。そこでエステルは「私は、死ななければならぬのでしたら死にます」と答え、王に訴えます。その結果は私たちがよく知っているとおりで、私たちがそれぞれ、主によって与えられ、置かれている立場があります。そしてそれを用いるように導かれる時があります。今、日本では緊急事態宣言が出されている特別な時です。しかし、そうではなくても、この時代に福音を必要としている多くの方々がおられます。伝道の困難は間違いなくありますが、そのなかで、主が私たちにすべきことを示し、与えてくださいます。私はそれを受け止めて進んでいきたいと思えます。



### 神学エッセー

## 人間関係論を学ぶ

### ① 開講にあたって



河村みち

「二人の成熟した大人となって、キリストの満ち満ちた身丈にまで達するのです」(エペソ四・13)

ある若者が「大人げない牧師」という言葉を使っていました。話を聞いてみるとどうやら人間関係の作り方の未成熟さを言っているようでした。大人げない大人たちに苦しめられながらも必死に成熟目指して歩もうとしていました。

もう一つの言葉が思い出されました。「幼稚な人間関係しか作れない牧師」という言葉でした。

私は人間関係を築くのは苦手な方です。他人事とは思えません。人間関係の構築の仕方について様々な角度から学ぼうと思うようになりました。

人生の悩みの90%は人間関係といわれています。人間関係は信頼関係の構築であり、そのためのコミュニケーションの仕方やトラブル回避や解決の知恵があります。また自分と他者の境界線が見えて

いなくて他者を本当の意味で援助することができなかった苦い経験もありました。また教会運営に關しての人間関係のトラブルの対処も自分の意見をそのまま強硬に押し通せば、信頼関係はなく、心の距離が遠いまま教会することになります。それは形だけの教会でその実をなしていません。

冒頭のみ言葉の成熟とは人間関係においてのことです。そこには、物事の捉え方、理解の広さと他者尊重があります。牧師の品格とは成熟した人間関係に表されていくものと考えます。そこで神学生のみなさんとともに、人間関係の構築について、自己理解と他者理解という観点からともに学んでいきたいと思っています。神学を实践するにあたって曖昧な部分を明確にするために「12の誤解」を使用します。またEQ(エモーショナルクオリティー)などを参考にし、自分、他者そして神さまと向き合える機会を考えています。

詩篇一三九篇のように私を「存じの神さまの前に傷ついた道を差し出せる安全な場所が必要」です。人生の中で人はみな傷を負って生きています。それは人間関係に歪みとなって出てきます。例外はありません。傷はいわばアイデンティティーの一部です。ですからいいことにせず、まず受け止めて、神さまの前に差し出すのです。傷は人間関係の中で気づくもので、合うことで改善していきます。

◆神学院に入学を許されて

良い行いのための備え

正規コース 林 眞光

「実に、私たちは神の作品であって、良い行いをするためにキリスト・イエスにあつて造られたのです。神は、私たちが良い行いに歩むように、その良い行いをあらかじめ備えてくださいました。」

(エペソ二・10)

私は母親がクリスチャンの家庭に生まれ、小さいころから教会に通っていました。そして小学6年生の時に神様と出会い、受洗をしました。

そんな中、22歳の冬にエペソ二・10のみことばが与えられ、献身に至りました。そしてみことばを与えられてから一年間、仕事をしながら献身の準備をしていました。しかしその準備の中で、神さまとの時間を作らずに他のことを優先してしまう弱さと自分の罪について知り、落胆しました。

そのような中で年末にBTCリトリートに参加させていただきました。集会後のカウンセリングの時間に、IIコリント二・5〜10のみことばをいただきました。弱さの中に神様は働いてくださる、そしてこの社会人としての一年間

は自分の弱さと罪を知り、そこに働かれる神さまの恵みと御力を知るためだと教えていただきました。このように神様は弱さに打ちひしがれるという苦しい経験も、今までのその他の経験もすべて「良い行い(直接献身をして、神様に仕えること)」をしていくために備えてくださいました。神学院に入学が許されて、これから学べることもすべて「良い行い」のために備えられていて、神様の作品として歩むようにされていくことを確信し、期待しています。

今の状況もコロナウイルスの影響で授業が行えないなど悪い状況にあります。しかし、このような状況も神様は良い行いに歩むための備えとしてくださることを信じ、神様の意図を祈り求めて歩んでいきたいと願っております。

◆神学院に入学を許されて

感謝そして

善きサマリヤ人のように

聴講生 金 承柱

「彼は言った。『その人にあわれみ深い行いをした人です。』するとイエスは言われた。『あなたも行って、同じようにしなさい。』」

(ルカの福音書一〇・37) 多くの方々のご関心とお祈りのお



かげで、2020年度春学期から聴講生として神学院で学ぶことになりました。未だ言葉の課題がありますが、学びを続けながら克服していきたいと思えます。入学に際して、特に思い浮かぶありがたい方々があります。 高校1年生の時、地域で開かれた科学キャンプに参加しました。そこで他都市から来た生徒から福音を伝え聞きました。夜を徹してイエス様について語り、クリスチャンになるよう熱心に勧めてくれた彼の姿が今でも心に生き生きと甦ります。 高校の3年間、私を物心両面で支えてくれた先生の存在も思い浮かびます。父親のような先生に出会うことがなかったら、学業を続けることは難しかったでしょう。 また、私たち夫婦が2016年から2年間滞在了したタイでも大切な出会いが与えられました。チェンマイ日本語キリスト教会の主任牧師であられた故野尻孝篤師を思います。先生ご夫妻のキリスト者としての生き方と真摯なメッセージを通して、当時苦境に立たされていた私の信仰は回復へと導かれました。

した。

糟糠の妻とは言いませんが、経済的に困窮していた若い頃から艱苦を物ともせず、祈りで支えてくれた妻にも助けられました。

このように人生における貴重な出会いの祝福を神様からいただきました。身に余る恵みに感謝するばかりです。

ルカの福音書一〇章37節は、私の人生の土台となった御言葉です。「あなたも行って、同じようにしなさい。」神学院生活を通して、誰かの友または隣人として生きてゆく道を学びたいと思えます。

◆新学年度のスタートに

めぐり逢いに

短期コース 藤井佳代子

「盗人が来るのは、盗んだり、殺したり、滅ぼしたりするためにほかなりません。わたしが来たのは、羊たちがいのちを得るため、それも豊かに得るためです。」

(ヨハネ一〇・10)

いま苦難を経験されている方々の上に主の特別な慰め、平安と希望が注がれ、皆様の安全と健康生活が守られますようにお祈りいたします。日常生活から一転、私

たちは新型コロナウイルス危機にて、忍び寄る死の恐怖にさらされています。そのような中で復活節を迎え、既に死に打ち勝つてくださった主イエス・キリストを思い起こします。

身代わりになってくださった十字架の主の前に、私は復活日の洗礼に導かれた時の初心に返りました。仏教の家庭に育ち、日々勉強と仕事に励み、自分の努力で試練や挫折を乗り越えてきたという思い違いをしていました。米国で小学校教諭をしていた時の勤務後に突然、二人の強盗に銃をつきつけられるまでは、この世の成功を得ようと必死でした。恐れおのきながらも、強盗から逃れることができましたが、根深い死への恐怖心、絶望感からは逃れることができませんでした。その後、殺害されそうになるトラウマの追体験、心的外傷後ストレス障害に苛まれていた時に、主と信者の方々めぐり逢い、視点が転換され、主の平安と希望に救われたことを改めて美しいいたしました。

尊いお祈り、お力添えいただきありがとうございます。主とのめぐり逢いに、お一人おひとりとのめぐり逢いに感謝いたします。思い描いていた人生とかけ離れていながらも、聖書を学び体験することが許されていて、この上ない充実感に恵まれています。与えられた役割を真実に果たすことができずように、祈っていただければ感謝です。

### 私の神学生時代 神の御前で牛歩する 24期生 ● 渡邊 貞雄



神学院のご訓練では、伝道者としてのディシプリンとメソジズムということに強く惹かれました。この道を忠実に進むことに励みました。どちらかというところ自分の性格に合っていたのかもしれない。今年で伝道者として約44年になります。この大切な姿勢・営みを訓練していただいたことが、自分の牧会姿勢の基本になったと感謝しています。

「主はアブラムに現れ、こう言われた。『わたしは全能の神である。あなたはわたしの前に歩み、全き者であれ。』(創世記一七・一) B T C 入学は23期生でしたが、在学中のバイクでの骨折事故のために、24期生として卒業することを許されました。

入学は葛田二雄初代総理が天に召された年の春でした。院長先生からの学びとご訓練は、わずか4か月間でした。しかしその凛とした霊的緊張感と主のご臨在を肌で感じる経験は大事な宝ともなりました。

神学院では、ほぼ毎月曜夜に合同祈禱会がありました。私は委託生として週末からのミッションの疲れが重なり、最前列の席で讃美歌を床に落としてしまいました。何度思い返しても、お恥ずかしい次第です。しかし睡魔に打ち勝つとともに祈り終え、神学院の玄関前に立って深呼吸し夜空の星を見上げた時の清々しい思いは忘れることができません。アブラハムの心境を覚えたことでした。(創世記一五・五)

自分のメソジズムの当初の理解は、何かが早くできて時間が節約されれば良いと言う程度でした。しかしもっと、心の有り様や、父なる神の臨在信仰への自覚、内におられる主への傾倒、そしてご聖霊と楽しく深く物語る世界のことだったのだと知らせていただきました。

それはまた主のご栄光を単眼で追求し「心を尽くし、いのちを尽くし、知性をつくし、力を尽くして……主を愛すること」だと教えられています。(マルコ一二・30)

卒業間近になって院長の葛田眞實先生が、牧会の現場に向かう私たちへコメントをされました。私には「牛のようにゆっくり確実な歩みをする器となるように!」とアドバイスを戴きました。

私の神学院生活は上辺や形式にとらわれ内面はおぼつかない姿だったかと思えます。私は丑年ですが、いまだにせかせかして、牛にはなりきれいでいません。

残る伝道者生涯の道を汚さぬように、祈り歩みたいと願います。

### 同窓生の近況

52期生

甲府教会 ● 岡 信男



昨年キャンダルサービスに初めて来た小学生が開口一番「この建物は、クリスマスのためにあるの?」この子は山梨YMCAの学童保育に通っています。そのYMCAの常議員の立場にある者として、福音を伝える責任を感じました。YMCAは地域共生社会を目指し、さまざまな事業に取り組んでいます。その証として会館を新築し5月2日に献堂式を行います。

5年前から山梨英和高校で聖書科の教鞭を執っています。今年度は、感染防止のためオンライン授業となりました。山梨英和の校訓は「敬神・愛人・自修」です。教会の礼拝に顔を見せる生徒もおり、一人ひとりが信仰者として生み出され、成長し、将来、社会で活躍していくことを願っています。

2014年2月の豪雪で被災した折、頂戴したご支援は今日も励みになっており、お寄せくださった皆様に感謝しています。今後も地域社会の要請に対し、教会が福音で応えることで伝道の働きが進展するよう努めてまいります。

神学院卒業後2年間、丸の内教会に伝道師として任命された。今ならインタンで、副牧師などと言える分際ではなかった。祈禱会の日と記憶しているが、私の献身を機に求道して救われ、熱心に信仰生活に励んでいた母と並んで有楽町駅の階段を降りながら、電車から降りた葛田院長が母を挟んで並んだ。母を励ます意味だったと思うが、先生は私たちに「三森君、お母さんが献身すれば良かったのに」と話しかけた。後で母は「失礼ねえ」と非難していたが、満更でもない気持ちがあったと察した。キビキビと行動的な母に比べて内向的な息子に期待はずれな思いがあった指導者の苛立ちが口に出たのか。恩師より30年も長く生きて多少は期待に添えたかなと思う。

### 神学院スタッフ…恵みの想起

### 初代院長と私の献身③

図書館司書 三森春生

● 新型コロナウイルスの影響で、4月10日(金)に短いオリエンテーションを行い、その後、授業は休止、神学生は各教師から出された課題に取り組んでいます。

● 入学式・始業礼拝の日程は実施の可否も含めて今後検討します。

● 職員は必要な業務のみ、ボランティアの方々のご奉仕もしばらくお休みになります。

● ホームページをアップデートしました。「後援会たより」、「創立70周年記念プロジェクト報告DVD」をご覧ください。

● 夫婦で入寮を希望している方のため、本館1階の管理人室を改修しています。

● 食堂棟のトイレは、食堂を通らず通路扉側からお入りください。

● ペテルハウスは感染拡大防止のため、しばらく閉鎖しています。

● お問い合わせは馬場姉まで。

● 神学院祈り会は行いません。

### サポーターズ

尊いお献げものに心より感謝申し上げます。3月の会計報告をさせていただきます。

3月分支援実状  
〔今年度毎月献金目標〕  
¥2,000,000

教会員による「神学院サポート献金」  
¥568,700  
教会団体による「神学院献金」  
¥495,467  
合計 ¥1,064,167  
その他の献金(一時・特別)  
¥58,500

・振替：00230-0-10138

### 学苑だより



# 公報

## 本部通達

「彼がわたしを呼び求めれば  
わたしは彼に答える。  
わたしは苦しみのときに  
彼とともにいて  
彼を救い 彼に誉れを与える」  
(詩篇九一篇15節)

新年度を迎えての1か月は新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、緊急事態宣言が出され、忍耐を強いられる毎日でした。地方教会においても大きな影響を受けておられることでしょうか。5月に入っても状況が改善しているかどうか不透明です。戸惑いと不安の中で新年度の歩み出しがなされた教会の中には、礼拝、祈祷会など諸集会が行えず、十分な交わりがまだなされていない状況かもしれません。

すべてのことを有益なものに変えてくださる主に祈りをささげながら、忍耐を持って前に進みたいと思います。

### ■本部

12日(火) 女性ホーム委員会

18日(月) 教団運営委員会

25日(月) 人権委員会

25日(月) 国内教会局

18日(月) 国内局運営委員会

25日(月) 女性牧師部会

〈春の教会会日程〉

\*左記の日程は4月中旬に確認した予定ですので、実際の開催日程等は各教区で必ずご確認ください。  
7日(木) 8日(金) 北海道

はオンラインに変更しました  
25日(月) 北関東

25日(月) 26日(火) 南九州  
(会場) 鹿屋教会

(未定) 東関東  
(中止) 四国、沖縄

\*今月11日に予定されていた中国教区会は4月27日にオンラインで開催されました。

◇6月22、24日の女性牧師合同リトリートは「中止」となりました。

〈JEA関係〉

◇6月1、3日のJEA総会には掛川での集会の予定でしたが、別の形態で開催されることが検討されています。

◇6月に予定されていたJEF総会・福岡大会は1年延期となりました。

〈月例支援金申請について〉

今年度の教会月例支援金の申請を予定している教会は、申請書を国内教会局までご提出ください。申請書の送り先はイムマヌエル神戸教会にお願いいたします。

■世界宣教局

▽根廻恵子宣教師(ザンビア)は3月23日、船橋教会で林正弘牧師の司式のもと、東京基督教大学留学生ボブ・コンベ兄と婚約されました。今後、お二人が宣教のために尊く用いられますようお祈りください。

▽新型コロナウイルス感染拡大の影響。  
\*根廻恵子宣教師は4月20日に再赴任の予定でしたが延期となりました。

\*富澤香宣教師(ザンビア)は、19日に緊急帰国となりました。

\*葛田就子宣教師(ケニア)は帰国便がないため病院での医療活動を継続されます。

\*豊田常喜宣教師(フィリピン)は封鎖が続くオンライン授業をしております。

\*台湾、香港では厳戒態勢の中、集会が続けられています。

\*カンボジアKCCはインターネットによる礼拝を配信しています。

▽4月の局運営委員会、局員会は6月2日(火)に延期します。

〈IWF関係〉

▽5月26日(火)はメールでIWF理事会を開きます。教会でIWF基金からの宣教師を招くための支援金、また教会堂の増築、改築などの融資を希望する場合は、理事会開催までに、申請書を委員の梅田登志枝師までご提出ください。

■教育局

12日(火) 局運営委員会

オンライン会議(予定)

28日(木)

オンライン会議(予定)

教育部・生涯学習課

オンライン会議(予定)

青少年部・青年課

▽3:30(旧YSウェスト)

3日(日) 5日(火) (中止)

青少年部・教会学校課

19日(火) 教会学校課会議

〈青少年部・中高生課〉

▽第13回とにキャン(\*)

オンライン開催を検討中、詳しくは後程各教会に送付される案内書をご覧ください。

講師||朝岡勝師(同盟・徳丸町教会)

テーマ||「メダリストくなくならないもののために」

〈青少年部・青年課〉

▽第7回全国ユースステーション2020(\*)

日程||8月13日(木) 15日(土) 会場||BTCホテルハウス

講師||松尾献師(KGK主事)

テーマ||「ダウト!!」あたりまえを問う

\*コロナウイルスの影響次第で開催可能かどうか検討中です。格別なお祈りをお願いいたします。

■信徒局

〈JHA関係〉

今月予定されていた北海道聖化大会、東海聖会、ジョン・ウェスレーに学ぶ会(大阪)、関東JHA青年大会は中止が決定しています。

■聖宣神学院

▽新型コロナウイルス感染拡大防止のため、入学式・始業礼拝は5月以降になりました。決定し次第、追ってご連絡します。

▽前期教会実習 受け入れ教会に感謝致します。

石川順兄 東京FM桜ヶ丘教会

田中利道兄 船橋教会

林眞光兄 蒲田シオン教会

藤井佳代子姉 Kurume Bible Fellowship

印刷所 埼玉県比企郡鳩山町熊井七〇

〇〇〇〇ビル イムマヌエル綜合伝道団本部

新生宣教団 定価 一部110円(税込)

郵便振替 001107133609

発行人 内山 勝 編集者 寺村秀嗣

発行所 東京都千代田区神田駿河台一

〇〇〇〇ビル イムマヌエル綜合伝道団本部

▽17日は71回目の創立記念日です。今年も創立記念日特別教会実習は行いません。

・創立記念日感謝献金は行いますが、各教会の実情に合わせてお加わりいただければ感謝です。

▽春の教師会 14日(木)を予定しています。

▽神学院祈り会はいりません。

▽ホテルハウスは新型コロナウイルスの感染拡大防止のため閉鎖しています。再開時期については改めてご連絡します。お問い合わせは学務課の馬場師まで。

▽BTC後援会からのお知らせ

・「世話人」の更新時期です。引き続きご協力をお願い致します。

・後援会たより第7号が発行されました。礼拝出席の皆さまを教会宛お送りしました。

・創立70周年記念プロジェクト報告のDVD「BTC恵みの軌跡」を教会宛にお送りしました。神学院HPでもご覧いただけます。

# 消息報告



▽6月29日に開催予定の研修会スナップ1(70歳牧師対象)は中止になりました。

▽以前人権委員会から発行されたパンフレットの縮刷版が今月発行される予定です。祈りのネットワークと同様に、教報の購読者には無料で配布されます。

教報PDFパスワード#5892